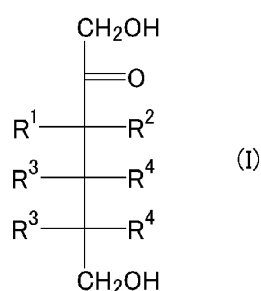


請求の範囲

[請求項1] 下記一般式（I）で表される化合物及び／又はこれの誘導体を有効成分として含む変性エラスチンの分解低下の抑制剤。

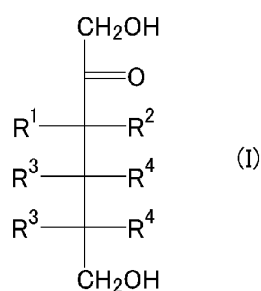
[化1]



（式（I）中、 $\text{R}^1 \sim \text{R}^4$ は、同一又は異なって、水素原子又はヒドロキシ基であり、 R^1 が水素原子の場合 R^2 はヒドロキシ基であり、 R^1 がヒドロキシ基の場合 R^2 は水素原子であり、 R^3 が水素原子の場合、 R^4 はヒドロキシ基であり、 R^3 がヒドロキシ基の場合 R^4 は水素原子である。）

[請求項2] 下記一般式（I）で表される化合物及び／又はこれの誘導体を有効成分として含む正常なエラスチン線維の維持剤。

[化2]

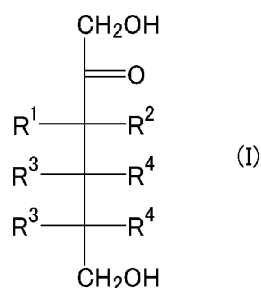


（式（I）中、 $\text{R}^1 \sim \text{R}^4$ は、同一又は異なって、水素原子又はヒドロキシ基であり、 R^1 が水素原子の場合 R^2 はヒドロキシ基であり、 R^1 がヒドロキシ基の場合 R^2 は水素原子であり、 R^3 が水素原子の場合、 R^4 はヒドロキシ基であり、 R^3 がヒドロキシ基の場合 R^4 は水素原子である。）

[請求項3] エラスチン-エラフィン複合体の形成を抑制する、請求項1又は2に記載の剤。

[請求項4] 下記一般式(Ⅰ)で表される化合物及び／又はこれの誘導体を有効成分として含むエラスチン-エラフィン複合体形成抑制剤。

[化3]



(式(Ⅰ)中、 $\text{R}^1 \sim \text{R}^4$ は、同一又は異なって、水素原子又はヒドロキシ基であり、 R^1 が水素原子の場合 R^2 はヒドロキシ基であり、 R^1 がヒドロキシ基の場合 R^2 は水素原子であり、 R^3 が水素原子の場合、 R^4 はヒドロキシ基であり、 R^3 がヒドロキシ基の場合 R^4 は水素原子である。)

[請求項5] エラスチン-エラフィン複合体形成を抑制することにより、エラスチン線維のターンオーバー促進のために使用される、請求項4に記載のエラスチン-エラフィン複合体形成抑制剤。

[請求項6] 請求項1又は3に記載の変性エラスチンの分解低下の抑制剤を含む、変性エラスチンの分解低下の抑制用組成物。

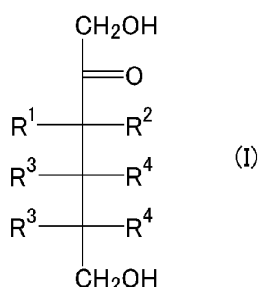
[請求項7] 請求項2又は3に記載の正常なエラスチン線維の維持剤を含む、正常なエラスチン線維の維持用組成物。

[請求項8] 請求項4又は5のいずれか一項に記載のエラスチン-エラフィン複合体形成抑制剤を含む、エラスチン-エラフィン複合体形成抑制用組成物。

[請求項9] 前記式(Ⅰ)で表される化合物及びこれの誘導体が、プシコース及び／又はフルクトースである請求項1～5のいずれか一項に記載の剤、又は、請求項6～8のいずれか一項に記載の組成物。

- [請求項10] 前記式(Ⅰ)中、 R^1 が水素原子であって、 R^2 がヒドロキシ基であって、 R^3 が水素原子であって、 R^4 がヒドロキシ基である、請求項1～5のいずれか一項に記載の剤、又は、請求項6～8のいずれか一項に記載の組成物。
- [請求項11] 前記式(Ⅰ)中、 R^1 がヒドロキシ基であって、 R^2 が水素原子であって、 R^3 が水素原子であって、 R^4 がヒドロキシ基である、請求項1～5及び9のいずれか一項に記載の剤、又は、請求項6～9のいずれか一項に記載の組成物。
- [請求項12] 皮膚外用剤である請求項6～11のいずれか一項に記載の組成物。
- [請求項13] 化粧品である請求項6～11のいずれか一項に記載の組成物。
- [請求項14] 飲食品である請求項6～11のいずれか一項に記載の組成物。
- [請求項15] 下記一般式(Ⅰ)で表される化合物及び／又はこれの誘導体を有効成分として投与する、エラスチン-エラフィン複合体形成又は変性エラスチンの分解低下を抑制する方法。

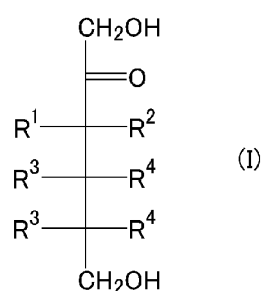
[化4]



(式(Ⅰ)中、 $R^1 \sim R^4$ は、同一又は異なって、水素原子又はヒドロキシ基であり、 R^1 が水素原子の場合 R^2 はヒドロキシ基であり、 R^1 がヒドロキシ基の場合 R^2 は水素原子であり、 R^3 が水素原子の場合、 R^4 はヒドロキシ基であり、 R^3 がヒドロキシ基の場合 R^4 は水素原子である。)

- [請求項16] 下記一般式(Ⅰ)で表される化合物及び／又はこれの誘導体を有効成分として投与する、正常なエラスチン線維を維持する方法。

[化5]

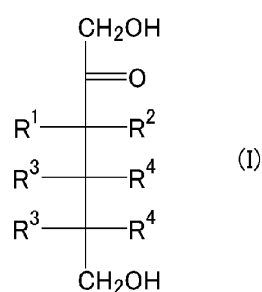


(式 (I) 中、 $\text{R}^1 \sim \text{R}^4$ は、同一又は異なって、水素原子又はヒドロキシ基であり、 R^1 が水素原子の場合 R^2 はヒドロキシ基であり、 R^1 がヒドロキシ基の場合 R^2 は水素原子であり、 R^3 が水素原子の場合、 R^4 はヒドロキシ基であり、 R^3 がヒドロキシ基の場合 R^4 は水素原子である。)

[請求項17]

エラスチン-エラフィン複合体形成抑制のため、変性エラスチンの分解低下抑制のため、又は、正常なエラスチン線維を維持するための下記一般式 (I) で表される化合物及び／又はこれの誘導体の使用。

[化6]



(式 (I) 中、 $\text{R}^1 \sim \text{R}^4$ は、同一又は異なって、水素原子又はヒドロキシ基であり、 R^1 が水素原子の場合 R^2 はヒドロキシ基であり、 R^1 がヒドロキシ基の場合 R^2 は水素原子であり、 R^3 が水素原子の場合、 R^4 はヒドロキシ基であり、 R^3 がヒドロキシ基の場合 R^4 は水素原子である。)